

製品名: ビンキュリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00013

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 124 kDa; Observed MW: 124 kDa

抗原情報

遺伝子名	VCL
別名	VCL; Vinculin; Metavinculin
遺伝子 ID	7414
SwissProt ID	P18206
免疫原	ヒトビンキュリンの組み換えタンパク質

背景

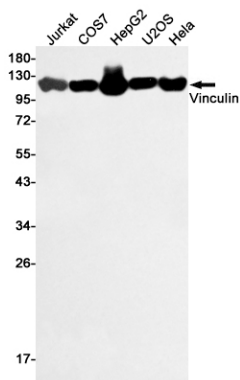
ビンキュリンは細胞骨格タンパク質であり、接着斑と胚発生の調節において重要な役割を果たします。ビンキュリンは 3つの構造ド

メインから成り、アミノ末端の頭部、短く柔軟なプロリンに富む領域、そしてカルボキシ末端の尾部から構成されています。不活性状態では、ピンキュリンの頭部と尾部は相互作用して閉じた構造を形成します。活性状態のピンキュリンは接着斑へ移行し、F-アクチンを膜に固定し、細胞遊走を制御すると考えられています。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



ピンキュリン抗体を使用した、Jurkat、COS7、HepG2、U2OS、HeLa 溶解物中のピンキュリンのウエスタンブロット分析。